

月・考査等	単元名	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】						
	学科名 業業・商業・海洋科	学年 2学年	教科 家庭	科目 家庭総合	単位数 2	教科書 家庭総合 (実教出版)				
	科目の目標	<p>1 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>3 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>								
4	家庭科を学ぶにあたって 第1章 これからの人生について考えてみよう	1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 これからの人生をデザインする	・学習の意義や内容、学習方法や評価方法を理解する。 ・自分や人の一生についての考えをまとめることができる。	・人生の各ライフステージの特徴と課題を知り、自分の生活について考え表現できる。	・将来の生活設計を考えることに意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック			
5	第2章 自分らしい生き方と家族	1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族	・青年期の自立や男女平等と相互協力について理解している。 ・現代の労働環境、労働時間と生活時間との関係を理解している。 ・家族の多様化や変化する家族の役割について理解できる。	・自分の将来のキャリアや生活の設計を考え、ワークに表現することができる。	・男女共同参画社会など社会の現状について知ろうとする意欲がある。 ・労働に関して関心を持ち、労働と現在の家庭・家族がかかえる課題を見出そうとする。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・生活ハンドブック			
中間考査		4節 家族に関する法律	・家族に関する法律に関する知識を身につけている。	・家族に関する制度や現代の家族に関する課題をグループワークで討議することができる。	・家庭生活と法律の関係について興味関心を持つようとしている。 ・生命の尊さを理解し、自分の生育過程と将来を関連させ、学習しようとする意欲がある。	・グループ討議 ・ワークシートの作成	・生活ハンドブック			
6	第7章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 5節 私たちがつなぐ衣生活文化	・衣服の起源と機能について理解している。 ・衣服の素材の種類と特徴について理解している。 ・日本の伝統的衣生活と世界の多様な衣服の発達について理解している。	・衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え判断することができる。	・衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとしている。 ・日本の伝統的衣生活に対して関心を持ち生活に取り入れる意欲を持っている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・生活ハンドブック ・生活ハンドブック ・DVDの視聴 ・生活ハンドブック			
期末考査	7	3節 衣服の選択から管理まで	・衣類の購入から整理・廃棄まで計画的な衣生活を営む知識を身につけている。	・識を身につけ、実生活において適切に判断できる。			・生活ハンドブック			
8	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ		・家庭生活に関する課題を見つけ、具体的な解決方法を考え、実践することができる。			・レポートの作成	・生活ハンドブック ・DVDの視聴			
課題テ		4節 持続可能な衣生活をつくる	・不要となった衣類の有効利用を実践できる。 ・しきみについて理解している。	・現代の衣生活を取りまく課題を導きだすことができる。			・生活ハンドブック			
		6節 衣服をつくろう	・被服製作政策の基本的な技術を身につけ、日常生活に役立つ作品をせいさくすることができる。	・被服作品に、創意工夫しオリジナルのデザインを取り入れ、製作することができる。	・被服作品の製作に、創意工夫をしながら、意欲的に取り組むことができる。	・被服作品の背作	・生活ハンドブック			
	第5章 社会とかかわる	1節 支えあって生きる	・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況や社会福祉制度のしくみについて理解できる。	・現在の生活課題と社会福祉や社会保証制度を関連させ考えることができる。	・生涯を通しての社会福祉・社会障について意欲的に理解しようとしている。		・生活ハンドブック			
10		2節 共生社会を生きる	・地域福祉における共助の重要性について理解できる。		・社会の一員として、地域の活動に興味・関心を持ち、意欲的に参加しようとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック ・DVDの視聴			
中間考査										
	第8章 住生活をつくる	1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節 健康に配慮した快適な室内環境	・住まいの役割・機能について地域の特性を踏まえて理解できる。 ・日本特有の生活様式と、住まいの特徴を理解している。 ・家族構成やライフステージに応じた住まいを考えすることができる。 ・日照や通風など健康的な住まいの環境についての知識を理解できる。	・現代のライフスタイルに応じた住まいについて考えることができる。 ・ライフステージにあった住空間や住環境について考えを深めることができる。 ・適切な住まいの管理方法を判断することができる。	・よりよい住生活の創造に向けて住空間の計画や住環境に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック ・生活ハンドブック ・生活ハンドブック			
11		5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり	・住まいの安全対策を実生活に役立てることができる。 ・現代の住環境の課題について認識することができる。	・安全な住まいや快適な住環境のための課題解決のための方策を考えることができる。	・持続可能な住生活の質を高めようとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック ・生活ハンドブック			
期末考査	12									
12	第9章 消費行動を考える	1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題 3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境	・消費行動における意思決定の重要性を理解している。 ・現代の消費生活の特徴を理解し、その課題について理解を深めている。 ・現代の消費生活の課題を認識し消費者の権利と義務について理解できる。 ・環境に配慮した持続可能な消費の在り方について理解している。	・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。	・消費者の一員としての自覚を持ち消費行動の在り方、消費と環境との関わりについて積極的に理解しようとしている。 ・現代の消費生活の問題点を理解し、責任ある消費行動を実践しようとしている。 ・持続可能なライフスタイルを意識し、日常生活を送ろうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・生活ハンドブック ・生活ハンドブック ・DVDの視聴 ・生活ハンドブック			
1		1節 暮らしと経済	・家庭経済国民経済のしくみを理解し、経済計画の重要性を認識できる。		・経済のしくみを理解した上で、短期・長期の経済計画に意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック			
2	第10章 経済的に自立する									
学年末考査	3	1節 将来のライフプランニング	・生活資源について理解した上で生涯を見通し、ライフプランを設計していくことの重要性を理解している。		・自らのライフプランの充実向上に向けて主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・生活ハンドブック			

月・考査等	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	薬業・商業・海洋科	3	家庭	家庭総合	2	「家庭総合」自立・共生・創造 (東京書籍)				
科目の目標	1 人の一生と家族・家庭及び共生社会における福祉、衣食住と消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得する。 2 学習した知識や技術を活かし、家庭や地域における生活課題を主体的に解決する意欲と態度を育てる。 3 家族や社会との共生を目指し、市民として生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。									
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解						
		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住と消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な意欲と態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住と消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、生活の在り方を工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住と消費生活などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住と消費生活などに関する知識を総合的に身に付けている。					
単元名	項目名	学習到達目標			補助教材	評価方法				
4	第3章 高齢社会を生きる	1 高齢者を理解する 2 高齢期の心身の特徴 3 高齢者を支える	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢者の心身の変化と特徴を理解する。 ・高齢者疑似体験から、高齢者への支援の在り方、ユニバーサルデザインの重要性を考える。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	実習レポート	○ ○ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ○
5	第2章 子どもと共に育つ	4 これからの高齢社会 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る	・介護保険や年金制度を理解し、高齢社会の将来像を考える。 ・出産前後の健康管理の重要性を理解する。 ・子どもの育つ力と発達段階を理解する。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート ワークシート ワークシート	○ ○ ○		◎ ◎ ◎
中間考査										
		3 親として共に育つ	・人生の初期における家族との関わりの重要性に気づくことができる。 ・基本的な生活習慣の形成や食事・健康管理について理解する。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート ワークシート	○ ○		◎ ◎
6		4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	・愛着形成の重要性と親としての成長を理解する。 ・子どもの遊びについて理解し、幼児の発達を促す児童文化財を制作する。 ・子どもを取りまく児童福祉・社会環境の現状について理解し、今後の在り方について考える。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	観察 作品 レポート ワークシート	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ◎
期末考査										
7	第6章 食生活をつくる	6 食生活の文化と知恵	・日本の地域の食文化を見直し、食文化の継承について考える。			生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート	◎	○	○
8										
課題テ										
9		1 食生活の課題について考える	・日本の食生活の変化をエネルギー摂取PFC比率から理解する。 ・日本人「コ食」から、現代の食生活の傾向を理解する。 ・BMI値を活用して、生涯に渡る体重管理に意欲を持つことができる。 ・食の外部化の現状を認識し、食生活改善について考える。 ・日本の伝統的食生活を食材豊富さや一汁三菜の配膳から理解する。 ・自らの食生活を記録し、5W1Hの視点から振り返ることができる。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート ワークシート	○ ◎ ○ ○	○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎
10		2 食事と栄養・食品	・5大栄養素の特徴を科学的に理解する。 ・5大栄養素を多く含む食品の特徴と調理上の性質を理解する。 ・食品成分表の見方を理解し、食品の成分の特徴を考えることができる。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート	○ ◎	○ ○	◎ ◎
中間考査										
		3 食生活の安全と衛生	・食品の選択と保管、調理上の衛生管理について理解し、調理実習において衛生的な行動をとることができる。			生活ハンドブック (第一学習社)	観察 実習レポート	○		◎ ○
11		5 調理の基礎	・基本的調理技術である計量、包丁の扱い方、切り方ができる。 ・調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作ることができる。			生活ハンドブック (第一学習社) 生活ハンドブック (第一学習社)	観察 実習レポート 観察 実習レポート	○ ○		◎ ◎
期末考査										
12		4 生涯の健康を見通した食事計	・日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめ、献立作成に活用することができる。			生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート	◎ ◎	○ ○	○ ○
1		7 これからの食生活	・食糧自給率やフードロスについての理解を深め、食の在り方を考える実践することができる。 ・生涯を通じて健康で安全な食生活を営む力を身につける。			生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート	◎ ◎	○ ○	○ ○
共通テスト										
	第9章 生活を設計する	生涯を見通す	・キャリア形成の視点から、生涯の生活設計に向け必要な要素を考えることができる。 ・自らの目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てることができる。			生活ハンドブック (第一学習社)	ワークシート	○ ○	○ ◎	
学年末考査										